

令和4年度第1回青森市景観審議会 会議概要

会議名	令和4年度第1回青森市景観審議会
開催日時・場所	令和4年8月19日(金) 11時00分～12時20分 青森市役所 柳川庁舎2階 大会議室
出席者	<p><審議委員></p> <p>飯田 善之 委員、伊藤 芳男 委員、香取 真理 委員 楠美 耕作 委員、慶野 結香 委員、斎藤 嘉次雄 委員 高井 康子 委員、玉熊 訓 委員、常田 隆是 委員 松野 ミツ 委員、森内 忠良 委員</p> <p><事務局></p> <p>都市整備部都市政策課 課長 櫻田 文明、主幹 馬場 大士 主査 木村 幸司、主査 野村 聖輝 技師 山崎 雅淑</p> <p>市民部生活安心課 課長 古澤 康彦、主幹 越田 敏幸 (事業担当課①) 主査 木村 和美</p> <p>教育委員会事務局 教育次長 大久保 綾子 " 総務課 主査 斉藤 貴康 (事業担当課②)</p>
欠席者	佐々木 重光 委員
担当課①	案件 青森市斎場建替事業【計画段階】 「【資料】青森市斎場建替事業【計画段階】」に基づき説明。
委員	基本方針に「周辺環境に配慮した施設とは、周辺環境への影響を最小限に抑える」とあるが、具体的に説明してほしい。
担当課①	火葬炉の配置、悪臭物質濃度等にはごみ焼却施設のような法令の基準はないが、それらに近い煤塵濃度の設定をすることとしている。今回臭気等の目標数値を定めることとしている。
委員	現在の斎場は(自然景観的に)良い立地環境にあると思うが、新たな斎場建設予定地は既に市で取得しているのか？
担当課①	現在稼働している斎場の敷地内で、新たな斎場を整備し、後に現斎場を取り壊すと考えている。

委員	これから設計段階に入ると思うが、設計者はどういう基準で選定するのか？
担当課①	今想定しているのは、新しい斎場と浪岡斎園も含めた一体的な管理運営を概ね20年程度想定しており、それらを一括で行える業者を募集することとしている。選定方式は総合評価落札方式を予定している。
委員	斎場は故人の(訪れる)最期の施設。禅林街にある森に囲まれた弘前斎場のような、故人に対する「想い」が建物全体から窺えるレガシーになることを踏まえてほしい。
委員	(建物の)方角、エントランス・風除室の広さ、車寄せに屋根をかける、という点も考慮してほしい。外観に青森らしさが欲しい。 残存できる大きな樹木を活かし、同じ「命」として残してほしい。 (今後の)メンテナンス費用も含めて検討してほしい。現在の斎場は八甲田山が見えなく、青森らしさが足りない。
担当課①	参考イメージ図は向きを想定していない、本審議会の意見を踏まえて発注する。参考イメージ図は建物部分だけの簡単な図面であり、当然エントランス・風除室前には屋根を付けて風雪に耐えうるよう想定している。
委員	以前は青森空港から八甲田連峰が眺望でき、他地域から来た人も素晴らしいと褒めていた。現在は空港駐車場が(空港施設前面に)建ち、それらが全く見えないことが残念である。 景観はお金に換算できない宝物であり、人は最後自然に還る。遺族が故人を想い、心が和む空間にしてほしい。
委員	遺族が(斎場で)時間をどのように過ごすかと考えた際、山を眺められる空間や、周囲には散策できる公園のようなスペースなど、遺族も心落ち着けられる時間を過ごせたら良い。
委員	遺族が最も長く時間を過ごす控室、あるいはエントランスに、ゆったりと外を眺めながら癒される広い空間が必要である。 また、火葬炉が7基あるということだが実際には何基稼働しているのか？

担当課①	10分ほど時間をずらしながら午前4基、午後4基、1日延べ8基としている。1基は予備としている。
委員	現在の駐車場となっている場所に建てるということで間違いないか？
担当課①	赤柵の庭園と駐車場の範囲には地下埋設物がないので、自由に設計できる。
委員	(この計画であれば)道路沿いにわかりやすいサインを付けてほしい。第二駐車場を用意する等、建設中は利用者に不便をかけないよう配慮が必要である。
議長 (会長)	今までの意見を踏まえ、自然景観を活かした斎場であること、また環境に適したサイン計画が必要である。 浪岡斎場も自然景観を採り入れながら適切なサインを行う良い例である。浪岡斎場の敷地面積はどのくらいなのか？
担当課①	約 9,400 m ² である。
委員	遺族は控室に約2時間いることになる。故人を偲ぶ時間、想いを大切にしたい空間にしてほしい。
委員	計画施設が道路側に配置されるため、開けた空間がなくなってしまう点は議論されるべきである。 また、全方向に遺族控室が配置されているが、道路側の控室で2時間半収骨まで待つ方がいると想定される。今後50年稼働するとして、死者が令和22年まで増加した後減少すると共に、徐々に(斎場の)稼働も減る。その点も踏まえた斎場全体のゾーニング、控室の配置、道路側への植栽や庭が必要となる。設計者と同時に市も(今後も踏まえて)考えるべきである。
議長 (会長)	浪岡斎場のように施設が道路から見えない方が良いか、見えるべきかという点を議論願いたい。

委員	<p>斎場という施設が見えるべきか、見えないべきか。</p> <p>例えば蟹田や金木の斎場は入口が開けて前面に駐車場があり、森の中にありながら視認性が良い。青森市は流通団地に近く交通量が多い。現在の斎場は八甲田が裏側になっているが、道路側(に配置予定の控室)へも(景観において)配慮することで遺族へのグリーフケアに繋がっていけば良い。</p>
議長 (会長)	<p>(施設が)道路から見えの方が良いか見えない方が良いかはもっと協議する時間が必要である。</p> <p>現在の計画地は施設の利用方法含め市民に認知されているが、多角面から見たエリアの選定も街づくりの一つであるべきである。(現在の計画地で)樹木でバッファゾーンを作って解消される問題ではない。</p>
委員	<p>計画では建物が洋風であるのに対し、現在植えている樹木は和風・洋風が混在している。内部コーナーにもう少し和風(の内装)があれば良い。青森には四季がある。雪囲いそのものがひとつの風景なので、それを踏まえて活かしてほしい。</p> <p>内部も造形的な石を使うなど、「終局」として焼き上がってくる遺骨を待つ人たちの心を慰める場として工夫してほしい。</p>
委員	<p>現在の斎場を稼働させながら建設すると、現在の施設場所が駐車場となり景観が悪い。現在の敷地に建設するのは決定しているかと思っていたが、他地への建設も可能であるなら視野に入れるべきだと考える。</p>
議長 (会長)	<p>今後団塊の世代を火葬することになるので、効率を考慮して稼働させることも大事だとは思う。しかし市民誰しもがここで最期を迎えるので、普通の建築物とは違った尊厳を持たせるべき。</p> <p>景観の観点では、現在の場所は非常に難しい。時間がないとは思いますが、現在の場所にこだわるのではなく、例えば墓地と一体になっている八甲田霊園近辺等、改めて再考することを委員会の総まとめとしてお願いしたい。</p>
委員	<p>何十年も使うものであるから、時間の有無に囚われず今審議する必要があるのではないかと。ただ時間に追われては委員会全体の意欲がなくなる。</p>
委員	<p>現在地に建てる場合災害が多いと聞いているが、周辺に河川用水路等はあるか。</p>
担当課①	<p>航空写真の左側樹木のところ、牛館川の調整池になっている。</p>

委員	調整池ということは洪水が起きた際に水をためる役割をするが、数十年に一度の災害が全国的に起きている。施設内への浸水を汲み上げるポンプを置く等の対策はあるか？
担当課①	そもそも南部工業団地の整備で保水力が落ちたのをカバーするための調整池。それによって地域として大雨等の対策が取られていると考えている。
委員	最後に、火葬件数が増えるので待合ホールを広くしてほしい。
議長 (会長)	景観と用地に関して、現在の場所ありきではなく、もう少し選定方法を考慮すべきである。我々人間が最期を迎える際、心の問題、尊厳を保つため、敷地環境の再考をお願いしたい。
担当課①	ただいまの意見に関して、設計段階の説明でよろしいか。
議長 (会長)	敷地選定も設計のうちである。「ここしかない」ではなく選択肢を残したほうが良い。先を見越しての再考をお願いしたい。
担当課②	案件 青森市立造道小学校校舎等改築事業【計画段階】 「【資料】青森市立造道小学校校舎等改築事業【計画段階】」に基づき説明。
委員	概要について、福祉館と消防団器具置き場は一緒か別棟か。
担当課②	別棟となる。
委員	(別棟とした際、小学校と福祉館を)渡り廊下でつなぐ、児童が体育館で学芸会やお遊戯会に高齢者を招く、児童が福祉館に伺う等のアイデアはあるか？
担当課②	木造平屋建てと鉄筋コンクリートの学校をつなげると、防火設備等が非常に増えるため、今回は木造単独とする。
委員	青森市としてこういうモデルの施設を考えることも一つの行政のあり方だと思う。
議長	小学校と福祉施設のつながりをまちづくりの一つとして取り組むことにより、独自の

(会長)	景観形成ができる例もある。例えば利便性も高まっているのは、東松島市の鳴瀬桜華小学校である。
委員	正門はどちらになるか？複合施設の駐車場はどこに確保するか？ 「敷地内緑化に努める」とあるが、「青い森」という言葉に負けないくらいの樹木を配置してほしい。こどもの育成に伴ってすくすくと木が伸びていくよう培ってほしい。
担当課②	正門の位置は今後設計で確定させる。複合施設専用の駐車場は学校とは別に整備する。今ある樹木は、邪魔にならないものは残すように考えている。今後設計段階において植栽を改めて検討する。
委員	渡り廊下が面倒だとあったが、これから少子高齢化進む。高齢者が子供とふれあうことで社会が形成される。 青森は名ばかりで緑が少ない。犯罪と緑の比率のデータもある。花壇があったほうが犯罪は少ないし、機能だけを優先しても心に潤いが生まれにくい。筒井小も木が切られて非常に勿体ないと感じる。木を大事にしてほしい。
委員	これから我々が抱える少子高齢化の問題で、学校の再編は一切考慮されていないのか？ そういう点を考慮した上で、造道小はなぜ新しくしなければいけないのか？
担当課②	建て替えするに当たっては市の施設、例えば福祉館や市民センターとの合築を必ず検討するようにしている。学校単体での建て替えの検討も当然あるが、地域の住民の方々も使えるような複合施設としての検討も必ずなされている。
委員	地域の人口の比率や密度で考慮して配置しているのか？市全体の構想を知りたい。
担当課②	現在小学校は42校、中学校は19校、複式学級を持っている学校が6小学校の状況にある。当然統合は念頭に入れるが、地域の方々の同意をいただいてから進めていきたいと教育委員会では考えている。無理に学校を建てるためだけの統合は今のところ検討していない。
議長 (会長)	重要な会議なので、事務局にはじっくり審議できる時間を作ってほしい。
	<終了>